

令和元年度補正 重点分野・テーマ別の販売促進活動報告書

令和2年9月8日

JA全農インターナショナル(株)

令和元年度補正 重点分野・テーマ別の販売促進活動について、記1の補助事業を活用して記2のとおり実施したので報告いたします。

記1

令和元年補正輸出拡大が期待される分野・テーマ別の海外販路開拓等への支援強化事業のうち「重点分野・テーマ別の販売促進活動」

記2

対象国・地域 : 香港（メロン）

実施期間 : 令和2年 7月3日(金)～7月5日(日)
令和2年7月24日(金)～7月26日(日)
令和2年7月31日(金)～8月2日(日)
令和2年8月7日(金)～8月9日(日)
令和2年8月14日(金)～8月16日(日)
令和2年8月22日(金)～8月24日(日)
令和2年9月2日(水)～9月8日(火)

「香港 小売店舗 JA全農フェア」

1. 『香港 小売店舗 J A全農フェア』について

- (1) 期間 : 令和2年 7月 3日(金)～7月 5日(日)
令和2年7月24日(金)～7月26日(日)
令和2年7月31日(金)～8月 2日(日) DONDONDONKI 3店舗×3日
令和2年8月 7日(金)～8月 9日(日) DONDONDONKI 3店舗×3日
令和2年8月14日(金)～8月16日(日) DONDONDONKI 3店舗×3日
令和2年8月22日(金)～8月24日(日)
令和2年9月2日(水)～9月8日(火)
- (2) 場所 : APITA、UNY、YATA、MUJI supermarket、Parknshop
- (3) 出席者 : 全農インターナショナル香港有限公司 アンソニー担当
- (4) 内容 : 日本産青果物が定番化している上記スーパーにおいて、プロモーションを実施した。これまで、日本産のメロン、西瓜については比較的西日本の産地の知名度が高いが、とりわけ東の生産県については浸透度が低いという認識である。今回は香港で人気の高い小玉西瓜を有する秋田県産などを混ぜ、プロモーションを実施した。また、8月には北海道商品がピークを迎えるため、エア便などを駆使し、葉物野菜等幅広く展開した。
- (5) 販売青果物
西瓜(鳥取県産、和歌山県産、秋田県産、北海道産)、メロン(青森県産、北海道産)
野菜類(北海道産)
- (6) 着荷状況
すべての商品はほぼ良好であった

鳥取、和歌山県産のスイカ類



秋田県産のスイカ類



北海道産のメロン類ほか



北海道産のメロン類ほか



北海道産のメロン類ほか



2. 所感

メロンは5月の九州産から販売しているが、日本産は食味の優位性があるので、産地リレーも定着しつつあり、9月まで長期的な販売できるよう更に努める。

西瓜については、小玉の引き合いが極端に強い。大玉はカットが必要になるため海外では厳しいが、今後はカット販売の拡販に向け検討したい。産地によっては、小玉西瓜の生産自体が不安定という産地も多く、現地の需要に継続的に答えていくためには、今回のように複数産地のリレーが望ましい。メロン・西瓜とも「北海道」というネームバリューは、香港内でも非常に高いことを再認識した。

空輸、船便を組み合わせることにより、葉物など船便に適さない野菜類も棚に並べ、一緒に拡販に向け展開した。非常に彩りのある販促棚を作ることができたものと認識する。

3. 今後の進め方

次年度はさらに産地・商品のバラエティを拡大し、期間も伸ばし、日本産青果物の販売拡大を目指す。